第 17 講　「脱亜入欧」の達成と帝国主義
PART3 藩閥・政党の妥協と東アジアの帝国主義時代

Chapter 1　藩閥と政党の妥協

目標
藩閥と政党が提携したのはなぜだろう？
元老について知ろう。

1　政府と政党の提携

日清戦争後の資本主義の成立により，選挙権を持ち政党を後援する資本家・寄生地主の
発言力が増大。対外緊張の中で日清戦後経営を進める藩閥・軍閥政府は，
政党勢力を無視できなくなり，政界進出・産業発展を図る**政党も政府と提携**し接近を開始。

①**第二次伊藤博文内閣〔元勲内閣〕**（1892 ～ 96 年）
日清戦争後に自由党との提携を進め，板垣退助が内務大臣として入閣（1896 年）。
※同年，大隈重信は国民協会を除く対外硬派連合の５派を基盤として**進歩党**を結成。

②**第二次松方正義内閣〔松隈内閣〕**（1896 ～ 98 年）
進歩党との提携を進め，大隈重信が外務大臣として入閣（1896 年）。
※松方は軍備拡大のため地租増徴を計画するが，反対した大隈は外相を辞任。
その後，自由党との提携にも失敗した内閣は総辞職に追い込まれる。

大隈重信

③**第三次伊藤博文内閣**（1898 年）
総選挙で伸び悩んだ自由党との提携をあきらめ超然主義に戻り，軍備拡大のため
地租増徴を計画したが，自由党・進歩党ともにこれを否決，議会解散に追い込まれた。
※これを契機に両党が合同し〔1　　　　　　〕を結成。
衆議院に絶対多数を持つ政党が出現し見通しを失った伊藤内閣は総辞職した。

④**第一次大隈重信内閣〔隈板内閣〕（1898 年）**
首相兼外相に**大隈重信**，内相に〔2　　　　　　〕を擁する，**初の政党内閣**。
陸・海相以外の閣僚は憲政党員からなるが，組閣直後から党内の対立に悩まされる。
※旧進歩党系の**尾崎行雄**文相の**共和演説事件**による辞任を契機に，
その後任人事をめぐり旧自由党系と旧進歩党系の対立が激化。
※憲政党は，**憲政党**（旧自由党系，**星亨**ら）と〔3　　　　　　〕
（旧進歩党系，大隈重信・犬養毅ら）に分裂，内閣はわずか４か月で退陣。

2 立憲政友会の成立

星亨

①**第二次山県有朋内閣**（1898 ~ 1900 年）

憲政党（旧自由党）と提携し，1898 年に地租増徴案を可決（3.3%）。

しかし以後は政党勢力の削減と軍部・官僚の勢力拡大に政策を移行。

1899 年 **文官任用令を改正**

※**政党の力が官僚に及ぶことを防ぐ**ため，高級官僚の自由任用を原則廃止。

同時に文官分限令・文官懲戒令を制定して官僚の身分保障を強化した。

1900 年 ［4　　　　　　　　］→従来の治安立法の集大成

衆議院議員選挙法を改正

※納税資格を直接国税 **10 円**以上（全人口の 2.2%）とし，大選挙区制を採用。

［5　　　　　　　　　　　　］

→政党の力が軍部に及ぶことを防ぐ

※現役の大将・中将以外は陸・海軍大臣に就任することができなくなり，

内閣の組閣には軍部の支持が必要不可欠となった。

↓↓↓

一連の政策に反発した憲政党（旧自由党）は，議会の円滑運営のため

政党容認の考えをもつ伊藤博文と接近。**1900 年**，解党して伊藤系官僚と合同し

［6　　　　　　　　］を結成した（**初代総裁**［7　　　　　　　］）。

※妥協に憤慨した社会主義者の幸徳秋水は，新聞『万朝報』に「自由党を祭る文」を発表。

②**第四次伊藤博文内閣**（1900 ~ 01 年）

立憲政友会を基礎として成立するが，北清事変処理のための増税案を否決され退陣。

政党を否定する山県系官僚・貴族院勢力も反発。

↓↓↓

軍部・官僚・貴族院勢力を背景とする山県閥の第一次桂太郎内閣が成立。

かたや立憲政友会を背景とする伊藤閥の西園寺公望と政界を二分する，**桂園時代**へと突入。

※山県・伊藤らは政界の第一線から退き，後継首相の指名などで非公式に天皇を補佐する

［8　　　　］となり，内閣の背後から影響力を行使していった。

まとめ
日清戦争後，日露戦争を見据えなければならない政府は政党と提携した。
元老は，後継首相の指名などで非公式に天皇を補佐する存在だった。

Chapter 2　日露戦争前夜の国際関係

目標
列強の中国分割方法について知ろう。
アメリカが門戸開放宣言を出したのはなぜだろう？

1　列強の中国分割

日清戦争における“**眠れる獅子**”と呼ばれた清の敗北が刺激となり，
列強による「中国分割」が始まった（＝東アジアの**帝国主義**時代）。
※下関条約で定められた日本への賠償金を借款する代償に，
　港湾都市の〔1　　　　　〕権，鉄道の敷設権，鉱山の採掘権などを譲渡するという，
　資本輸出の形式をとった。

①**日本　（租借権なし）**
　福建省の他国への不割譲を確約させる（1898 年）

②〔2　　　　　　　〕
　膠州湾（山東半島）の 99 年租借（1898 年）

③〔3　　　　　　　〕
　旅順・大連（遼東半島）の 25 年租借（1898 年）
　※三国干渉によって返還させられた遼東半島の租借だけでなく，
　　ハルビン・旅順間の鉄道敷設権（＝東清鉄道南部支線）をも獲得したロシアに対し，
　　日本国民は憤激。
　※しかし政府は，韓国問題におけるロシア側の譲歩を期待して対露協調に努めた。
　1895 年　閔妃殺害事件
　　　　※三国干渉後，政権を握り親露政策をとる閔妃を，
　　　　　公使**三浦梧楼**が公使館守備兵などに王宮を占拠させ殺害。
　　　　　再び大院君を擁立しようとしたが列国の非難を浴び，
　　　　　朝鮮における日本の立場は決定的に悪化した。
　1896 年　国王**高宗**がロシア公使館に逃れ親露政権を樹立
　　　　※朝鮮における日本の影響力は大きく後退，
　　　　　東清鉄道の敷設権を得たロシアが代わりに進出した。
　　　　小村・ウェーバー覚書（小村寿太郎駐朝公使）
　　　　※閔妃殺害事件の事後処置として，日露の朝鮮駐留兵力の協定を結ぶ。

山県・ロバノフ協定（山県有朋内相）

※日露間の朝鮮財政に対する援助に関する協定。

1897 年　朝鮮が国号を**大韓帝国〔韓国〕**と改める

※日本の天皇に対抗し，高宗は**皇帝**を名乗った。

1898 年　西・ローゼン協定（西徳二郎外相）

※日韓の商工関係を妨害しない条件で，**日本がロシアの旅順・大連租借を黙認**。

④〔4　　　　　　　〕

九龍半島の 99 年・**威海衛**（山東半島）の 25 年租借（1898 年）

⑤**フランス**

広州湾の 99 年租借（1899 年）

2　アメリカの門戸開放宣言

〔5　　　　　　　〕は，列強の中国進出の動きには直接加わらず，

1899 年に**国務長官ジョン＝ヘイ**が〔6　　　　　　　〕**宣言**を行った。

※中国の「**門戸開放・機会均等**（1899 年）・**領土保全**（1900 年）」

（＝ヘイの三原則）を提案し，

伝統政策のモンロー宣言（1823 年）を転換。

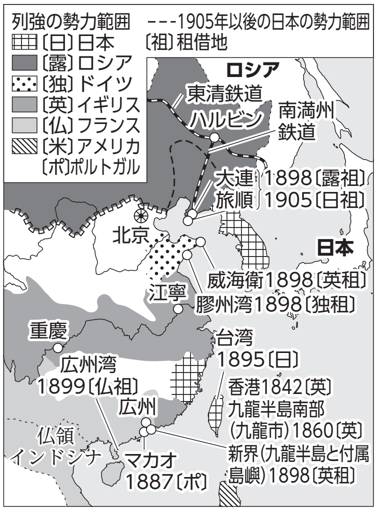
各国の勢力範囲内での通商の自由を要求した。

※アメリカは 1898 年に**ハワイ**を正式に併合。

スペインとの米西戦争に勝利して

フィリピンを植民地にするなど，

太平洋・アジア方面への進出を始めていた。



列強の中国進出

まとめ　清の借款の代償に諸権利を得るという形で，列強は中国に進出した。
ヨーロッパ諸国や日本の中国への帝国主義的進出に対し，
アメリカも市場参入の意思を表明するため門戸開放宣言を出した。

第 17 講　PART 3　確認問題

1　1896 年に大隈重信が結成した政党はどれか。

① 進歩党　② 憲政本党
③ 立憲政友会　④ 憲政党

2　初の政党内閣を組織した人物の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 大隈重信・伊藤博文　② 大隈重信・板垣退助
③ 寺内正毅・伊藤博文　④ 寺内正毅・板垣退助

3　共和党演説事件で辞任した文相はだれか。

① 尾崎行雄　② 犬養毅
③ 西園寺公望　④ 寺島宗則

4　第二次山県有朋内閣が行った政策に**あてはまらないの**はどれか。

① 地租増徴案の成立　② 軍部大臣現役武官制の廃止
③ 治安警察法の制定　④ 文官任用令の改正

5　日清戦争後の中国分割で，日本が清に不割譲を確約させたのはどこか。

① 広東省　② 山東省
③ 湖北省　④ 福建省

6 日清戦争後の中国分割で，九龍半島と威海衛の権益を獲得したのはどこか。

① イギリス　② ドイツ
③ フランス　④ ロシア

7 ヘイの三原則〔ジョン＝ヘイの三原則〕に**あてはまらないの**はどれか。

① 民族自決　② 機会均等
③ 門戸開放　④ 領土保全

8 アメリカが植民地とした東南アジアの国はどこか。

① マレーシア　② インドネシア
③ フィリピン　④ ベトナム

第 17 講　PART 3　確認問題　解答

1 解答：①

②の**憲政本党**は憲政党分裂により，1898 年に組織された旧進歩党系の政党。③の**立憲政友会**は 1900 年に伊藤博文を初代総裁として組織された政党。④の**憲政党**は 1898 年に自由党と進歩党が合同して組織された政党。

2 解答：②

初の**政党内閣**といわれたのは第一次大隈重信内閣〔**隈板内閣**〕で，首相兼外相に大隈重信，内相に板垣退助が就いた。

3 解答：①

尾崎行雄文相は旧進歩党系で，金権政治を批判した。

4 解答：②

第二次山県有朋内閣では**軍部大臣現役武官制**が法制化された。これは，陸・海軍大臣を現役の大将・中将から任用する制度で，政党の力が軍部に及ぶことを防ぐのを目的とした。

5 解答：④

日本に**租借権**はなかった。租借権とは，他国の領土の一部を借用することをいう。

6 解答：①

②のドイツは**膠州湾（山東半島）**の 99 年租借，③のフランスは**広州湾**の 99 年租借，④のロシアは**旅順・大連（遼東半島）**の 25 年租借を得た。

7 解答：①

アメリカの国務長官**ジョン＝ヘイ**は，1899 年に門戸開放宣言を行った後，中国の「門戸開放・機会均等・領土保全」を提案した。

8 解答：③

アメリカはスペインとの米西戦争に勝利し，フィリピンを植民地とした。